

作業療法教育研究投稿規定

1. (資格) 投稿者(筆頭者) は原則として本学会会員とします。筆者名は5名までとし、それ以外は謝辞に含めるようにして下さい。
2. (論文の種類と内容) 投稿原稿は作業療法教育の知識・発展に寄与するもので、未刊行のものに限ります。論文の種類は次の通りとします。
 - ①総説
 - ②研究と報告
 - ③短報, 資料など
 - ④書評, 論文抄録など
 - ⑤その他編集委員が適当と認めたもの
3. (倫理的事項) 論文執筆にあたっては、匿名性、倫理的側面に十分配慮して下さい。可能な限り事前に倫理委員会などの承認を得、その旨を明記して下さい。内容については、ヘルシンキ宣言及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省/厚生労働省, 2014. 一部改訂2017)をご参照下さい。
4. (利益相反) 利益相反のある場合は本文中に明記して下さい。
5. (投稿承諾書) 著者の論文への責任および著作権譲渡の確認のため、別紙の投稿承諾書に自筆による署名をし、論文投稿に合わせて日本作業療法教育編集委員会宛てにpdfファイルで送信して下さい(jotedjournal@gmail.com)。
6. (投稿原稿の提出先) 原稿は、日本作業療法教育学会編集委員会に、メール添付で投稿して下さい。その際、2つのdoc (またはdocx) ファイル (①表題頁, ②要旨ならびに本文と文献) とpdfファイル (図表) に変換して送って下さい。
7. (論文の採択) 投稿原稿の採択および編集は編集委員が行います。採択の可否は編集委員会から連絡致しますので、採択が決定されたらすみやかに、電子ファイル (docファイル等) を編集委員会に提出して下さい。
8. (著作権) 掲載されるすべての論文・記事・報告 (以下論文等) の著作権は本学会に帰属します。本学会は、掲載される論文等の全体もしくは部表などの一部を本学会が認めたネットワーク媒体に掲載することができます。
9. (編集委員会) 投稿原稿の審査・採択など、編集・発行に必要なことがらを行うため、編集委員を置くこととします。編集委員会には、編集委員長を置き、編集委員は委員長の指名によって任命します。
10. (別刷) 別刷については、投稿論文は30部、依頼論文は15部、それぞれの筆頭筆者に進呈します。
11. (その他) その他の必要な事項については、編集委員会で決定します。

原稿記載要領

投稿原稿は以下の要領に従って記載して下さい。

1. 原稿はパソコンを使用して作成して下さい。原稿は和文、英文のいずれかを使用し、横書きにして下さい。和文原稿は、A4用紙を使用し、上下左右の余白は各30mm程度、フォントは10.5ポイント明朝体、1頁の字数は1行40字×30行(1200字)とします。原稿用紙の枚数(本文)は論文の種類に従って以下の通りとします。図表は印刷面積にそって原稿枚数に換算させていただきます。
 - ①総説: 13枚程度
 - ②研究と報告: 10枚程度
 - ③短報, 資料: 6枚程度
 - ④書評: 1枚程度漢字は必要ある場合以外は当用漢字を用い、かなは現代かなづかい、送りがなを用い、句読点を明確につけて下さい。改行の場合は1字あけて書き出して下さい。英文原稿はA4版の用紙にダブルスペースで書き、上下左右に30mm程度のマージンをとって下さい。枚数は和文原稿の枚数に順ずるものとします。
2. 表紙(第1枚目)の上半分には、表題、著者名、欄外見出しを書いて下さい。論文の表題は、内容をよく示すものにして下さい。また、表題、著者名、所属には英文を付け加えて下さい。下半分には、原稿の枚数、図表の数、編集者への希望などを記載して下さい。なお、筆頭筆者の所属先住所について、和文、英文の両方を付記して下さい。
3. 著者名は、和文のときは「・」で連ねて下さい。ローマ字名の書き方は、名の頭文字を大文字・残りを小文字にして、姓は全て大文字にして下さい。
4. 表紙の次のページには、300字程度の要旨と、内容を示す適切な4つ以内のキーワードをつけて下さ

い、

5. 原則として、本文は緒言、方法、結果、考察(論議)、要約(結論)、謝辞、文献の順で記載して下さい。ただし、論文の種類によっては必ずしもこの限りではありません。
6. 図表の原稿は、本文と別紙(A 4版の用紙)を使って作成し、一括して原稿の末尾に添え、本文中の欄外余白に挿入箇所を赤字で、指定して下さい。また、表の番号と表題は表の上に「表1」、「Table 1」のように書き、表の説明は表の下に入れて下さい。図の番号と表題は図の下に「図1」、「Fig 1」のように書き、図に関する説明は図ごとに記載して下さい。
7. 図表の印刷は白黒です。提出されたものをそのまま使用するので、鮮明なものを作成して下さい。図表は1ページに1点ずつ作成して下さい。
8. 和文原稿で外国語を原語で記載するときは、固有名詞やドイツ語の名詞などを除き、小文字で記載して下さい。
9. 本文中の人名は、姓のみを書き、敬称は省いて下さい。欧文綴りのときは、頭文字を大文字、その後を小文字にして下さい。
10. 本文中の文献引用の形式は、著者名の後に文献欄の番号と対応させた番号をつけて下さい。この番号は小文字で肩番号にし、)をつけて下さい(例:⁵⁾)。順番は引用した順序または、アルファベットの順によって番号をつけて下さい。

引用文献の書き方

1. 文献リストは引用文献のみとし、引用順に記載して下さい。著者名は5名までを記載し、6名以上は「他」とすることを原則とし、表記の形式は以下の例に倣って下さい。
2. 雑誌の場合
文献番号) 著者名: 論文表題. 雑誌名, 巻(号):pp.A-B, 発行年(西暦).

附則 この規定は、2000年10月より施行する

附則 2017年 7月15日一部改訂(規定5, 6及び 原稿記載要領1, 6, 7)

附則 2018年 2月 2日一部改訂(引用文献1, 2, 3)

附則 2019年 9月11日一部改訂(規定1, 5, 6, 8)

附則 2020年12月28日一部改訂(引用文献2および4)

例)

- 1) 佐藤剛: 作業療法の理論的体系-その概念的枠組み, パラダイムおよび実践モデルの発展と現状-作業療法ジャーナル, 29(4): 248-255, 1995.
 - 2) The American Occupational Therapy association: Uniform terminology for occupational therapy. 3rd ed. Am J Occup Ther, 48 (11): 1047-1054, 1994.
 - 3) Chung JCC: Using problem-based learning (PBL) with Hong Kong Occupational Therapy students: Opportunities and challenges. Asian J Occup Ther 2: 10-22, 2003. (on line), available form
< http://www.jstage.jst.go.jp/article/asiajot/2/1/10/_pdf/-char/ja/ >, (accessed 2003-12-21).
なお雑誌名の省記法は慣用に従って下さい。
3. 単行本の場合
文献番号)著者名: 書名, 版. 発行社名, pp. A-B, 発行年(西暦).
- 例)
- 1) 中村雄二郎: 臨床の知とは何か. 岩波書店, pp. 36-44, 1992.
 - 2) Kielhofner, G. (山田孝監訳): 人間作業モデル-理論と応用-, 第4版. 協同医書出版社, pp.190-197, 2012.
 - 3) 村上 仁: 病型・臨床類型. 秋元波留夫・他(編), 日本精神医学全書, 第3-11巻, 各論1-2・金原出版, pp.36-44, 1967.
4. ウェブサイトの場合
著者名: 表題. URL (参照日).
- 例)
- 1) 日本作業療法士協会: 学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針. https://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi_rinri/ (参照 2020-12-28)
 5. 同一著者のものが2つ以上ある場合は、年次順に配列して下さい。
 6. 同一論文からの引用が並ぶときは、同誌 (ibid) と略して下さい。